

JGN-X研究計画書【研究機関情報】

記入にあたってはJGN-X利用
(※)印の項目に付きまして
お問い合わせは JGNセンタ

黄色の箇所は必須項目です。記入願います。
青色の箇所はプルダウンで選択してください。
それ以外の欄については下記注記をお読みください。

ください。

日付：平成x年x月x日

1. 研究者・手続き情報

プロジェクト番号 (JGNX-A*****)

NICTで採番します。

(1) 研究プロジェクトテーマ (※)

テーマ名 (日本語) : (サンプル) 仮想化ネットワーク環境のSDN制御に関わる研究
テーマ名 (英語) : (Sample) Research on virtual network management using SDN
(複数の研究機関等が共同提案する研究プロジェクトの場合は、同一の名称を使用してください。)

(2) 研究代表者 (それぞれの機関の代表者を記載してください)

所属研究機関 (日本語) (※) : 日本通信研究大学
所属研究機関 (英語) (※) : Japan Communication Research University
(ふりがな) : じょうほう たろう
氏 名 : 情報 太郎
所属部署等、役職 (日本語) : 新世代ネットワーク研究開発室、研究マネージャー
所属部署等、役職 (英語) : New Generation Network Research Development Office, Research Manager
郵便番号 : 123-4567
住 所 : 東京都千代田区大手町10-10-10
電話番号 : 03-XXXX-XXXX
e-mail : j.taro@jacoreun.ac.jp

申請頂く研究機関内で本プロジェクトに関わる
研究者の情報を記載ください。

(3) 研究者

所属部署等	役職	研究者氏名	メールアドレス
新世代ネットワーク研究開発室	研究マネージャー	情報太郎	j.taro@jacoreun.ac.jp
新世代ネットワーク研究開発室	主任研究員	通信健太	t.kent@jacoreun.ac.jp
新世代ネットワーク研究開発室	専門研究員	研究裕介	k.yusk@jacoreun.ac.jp
新世代ネットワーク研究開発室	専門研究員	放送哲也	h.tets@jacoreun.ac.jp

(欄を追加して、本研究プロジェクトに関わる同一機関の研究者全員について記入してください。)

(4) 研究プロジェクトにかかる連絡窓口

(NICTからJGN-Xのネットワーク関連の連絡させていただく際の担当者)

所属機関 : 日本通信研究大学
氏 名 : 通信 次郎
所属部署等、役職 : 新世代ネットワーク研究開発室、事務局長
電話番号 : 03-XXXX-XXXX
e-mail : j.jiro@jacoreun.ac.jp

利用手続きを進める当り、事務局よりの
問合せ、連絡等をさせて頂く窓口担当者様の
情報を記載下さい。

(5) 契約事務等担当者連絡先

(NICTとの共同研究契約の手続きをさせていただく事務)

所属機関 : 日本通信研究大学
氏 名 : 文谷 健介
郵便番号 : 123-4567
住 所 : 東京都千代田区大手町10-10-10
所属部署等、役職 : 新世代ネットワーク研究開発室、事務局補佐
電話番号 : 03-XXXX-XXXX
e-mail : k.humi@jacoreun.ac.jp

NICTとの共同研究契約の手続きの際に、事務局
より問合せ、連絡等をさせて頂く担当者様の情
報を記載下さい。

2. 利用サービス情報

(1) 利用するアクセスポイント (AP)

AP名: 関東-1 (大手町AP)、関東-2 (NICT大手町AP)、関東-3 (NICT大手町AP)、近畿-1 (大阪AP)、九州-1 (福岡AP)、東北-1 (仙台AP)

(1 機関でAPを複数利用する場合は欄に全て記載してください)
例: 関東-1 (大手町AP)、近畿-2 (大阪大学AP)

持ち込み機器: 1. ノートPC: 大きさ (1U)、重量 (2kg)、必要電源 (100V1A)、台数 (2)、場所 (関東-3希望)
2. サーバ: 大きさ (2U)、重量 (15kg)、必要電源 (100V6A)、台数 (1)、場所 (関東-1希望)

大きさ (U数)、重量、必要電源について記載ください。
(光テストベッドはプロジェクト概要に記載をお願いいたします)
※アクセスポイントの状況により、ご希望に添えない場合がございます。

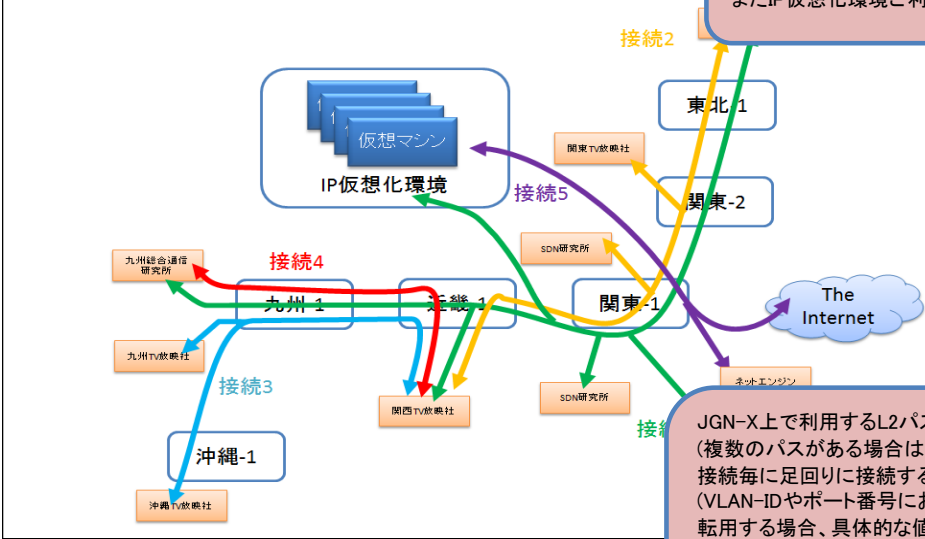
申請頂く研究機関でご利用頂く予定のAP名を全て記載ください。
(他の共同研究機関のみが利用されるAP名の記載は不要です)

各APに機器の持込を希望される場合、機器名や大きさ、重量、電源、台数、設置希望場所等の情報を可能な限り記載ください。
(但しAPの状況によっては設置ができない場合もあります)

左記サンプル図のように
JGN-X内でご利用いただく拠点と
拠点間に張るL2の接続パスを必要な数だけ明記してください。
またIP仮想化環境ご利用希望の場合はその旨も記載してください

(2) トポロジ

(研究プロジェクト全体のNW概要: 各機関とJGN-Xのトポロジ図)



JGN-X上で利用するL2パス(VLAN)を1パス1接続単位で記載下さい。
(複数のパスがある場合は、必要数分、項目欄を追加下さい。)
接続毎に足回りに接続する拠点情報を記載下さい。
(VLAN-IDやポート番号において、別PJ等で既に利用されているものを転用する場合、具体的な値の記載をお願いします)
(例)接続1
ご利用者において東北-1、関東-1、関東-2、近畿-1、九州-1の拠点到
足回り線をご用意頂き、各拠点を同一のパス(VLANID=1111)で
接続する場合左記のような記載となります。

(3) 接続区間詳細情報 (1 接続 = 1パス1接続単位)

	AP名	ポート番号	物理IF	VLAN-ID	Nego	種別	足回り
1A	東北-1	3/2	10GBASE-LR	1111	-	L2接続	ケーブル直収
1B	関東-1	3/1	10GBASE-LR	1111	-	L2接続	ケーブル直収
1C	関東-3	1/4	10GBASE-LR	1111	-	L2接続	ケーブル直収
1D	近畿-1	5/3	10GBASE-LR	1111	-	L2接続	ケーブル直収
1E	九州-1		10GBASE-SR	1111/untag	-	L2接続	ケーブル直収

	AP名	ポート番号	物理IF	VLAN-ID	Nego	種別	足回り
2A	東北-1		1000BASE-LX	2222 (untag)	-	L2接続	商用サービス
2B	関東-1		10GBASE-LR	2222	Full	L2接続	ケーブル直収
2C	関東-2		10GBASE-LR	2222	Full	L2接続	ケーブル直収
2C	近畿-1		1000BASE-LX	untag	-	L2接続	商用サービス

(利用が3ポートを超える場合は欄を追加してください)

接続3

	AP名	ポート番号	物理IF	VLAN-ID	Nego	種別	足回り
2A	東北-1		1000BASE-LX	2222 (untag)	-	L2接続	商用サービス
2B	関東-1		10GBASE-LR	2222	Full	L2接続	ケーブル直収
2C	関東-2		10GBASE-LR	2222	Full	L2接続	ケーブル直収
2C	近畿-1		1000BASE-LX	untag	-	L2接続	商用サービス

接続4

	AP名	ポート番号	物理IF	VLAN-ID	Nego	種別	足回り
3A	近畿-1		1000BASE-LX	4444	Full	L2接続	ケーブル直収
3B	九州-1		1000BASE-LX	4444	Full	L2接続	ケーブル直収

備考:

本プロジェクトで利用予定の通信帯域の上限を記載下さい。

イ. JGN-X上の利用帯域 10 Gbps

(4) 利用スケジュール (予定)

本プロジェクトでJGN-Xを利用する期間の年月日を記載下さい。

開始希望日	終了希望日
平成 25 年 9 月 1 日	平成 27 年 3 月 30 日迄